

令和6年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
一中地区地域のふれあいを広める会【H23.12.1設置】	自治会長 部会長 委員長 事務局 (22名)	★	継続事業 (毎月第1, 第3月曜日開催)	・高齢者の居場所づくり	高齢者サロン「楽々亭」の企画運営(11回) ・健康体操 ・レクリエーション ・食事(カレーライス) ※延べ240名参加		・高齢者サロンは希望者が多いが、受け入れ人数に限りがある。 ・防犯パトロール隊の高齢化が問題になっている。	
		★	継続事業 (毎週土曜日実施)	・青少年非行防止・防犯ネットワークの構築	コミセンの公用車で防犯パトロール隊が地区内の巡回パトロールを行う ※述べ13回 40名参加			
二中学区地域の輪をつくる会【H24.4.21設置】	会長 副会長 学校運営委員 自治会代表 指導課 青少年課 事務局 (15人)	1	令和6年5月29日	・第一回会議 今後の予定事業計画	・今後の予定・取り組む課題について確認 ・先進地視察 ・「めざせ！防災ヒーロー」開催について内容確認	・コミュニティスクールの取り組みは、学校運営のみならず地域コミュニティの持続的な活動にも繋がり、学校や地域が子ども達のために動く切り口は「共感」を得る事であり、市民会議でも熟議を重ねてきた。 ・今回の一泊で行った「めざせ！防災ヒーロー」は、地域の子ども会を巻き込み、自治会や自主防災会、学校や官公庁、地域の方々の協力を得てまさにコミュニティスクールと繋がった。 ・子ども達は防災に真剣に向き合い、地域の防災担い手としての自覚が育まれたかと思う。子ども会は実施の過程で自治体や行政と絆を結べたことで、「子ども会の存在が子どもの成長に大きな役割を担っている」ことを実感することができたと思う。 ・大洗町の研修は、地域人材の活躍と成功体験等をまさにCSとして尽力している方々から話を聞くことができた。学校運営協議会委員の立ち位置についても学ぶことができた。	・今回の防災ヒーローについては、市役所や自治会から非常食の提供、地域の方々からは食糧の提供、学区から補助もいただき開催できた。学校や学区内で今回のような企画をする場合、財政的な支援は期待できるのか。 ・学校運営協議会委員の立ち位置については、大洗町の地域人材の活躍は参考になった。関わる人の意欲に大きく左右されることも理解した。今後学校側に理解を促すために、どのようにアプローチしていったらいいか課題を残した。	・教育委員会と各小中学校の学校運営協議会委員と連携をはかりながら進めていきたい。
		2	令和6年6月28日・7月12日	・講演会参加 「持続可能なコミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進の原動力と人材確保・育成」	(研修会)2名参加 6/28 明星大学教育学部朝倉特任教授による講義・グループワーク 7/12 事例発表(日立市・小美玉市)			
		3	令和6年7月29日～30日	・目指せ防災ヒーロー一泊体験	水戸地方気象台、市役所、東関東警備保障(株)、自治会・自主防災会の協力を頂き、子ども会を巻き込んで、一泊で防災訓練を行った。 自然災害の発生は難しいが、災害は起きるという前提で子ども達にもできることがある！と企画。 自身への備えDVDを見たり、実験で雲を作ったり、非常食を食べたり、避難用段ボールベッド・テントを地域の方々と一緒に作ったりした。 コミュニティスクールの一翼を担えた。			
		4	令和6年9月4日～5日	・視察研修(29名)	「地域学校協働活動」の理解を深めるために、先進地である栃木県の事例等を県教育委員会担当者から伺った。 今後のコミュニティ活動に活かす。			
		5	令和7年2月19日	・市民会議 大洗町研修 社会教育における地域学校協働活動について(28名)	(大洗町教育長より講話) 学校・家庭・地域の連携と協働活動におけるこれからの可能性を探る (大洗町教育委員会より) 大洗うみ・まちコミュニティスクールと地域学校協働活動について並びコミュニティスクールの仕組みを生かして人権教育等の説明。 (CSより)地域人材の活躍と事例発表。 参加者からは、研修会を通して地域のつながりが人材発掘のツールになること。発想の転換や行動力、情報発信の大切さも再認識した。学校運営協議会委員は学校と地域の架け橋であり、関わる人の意欲が活動や支援に大きく左右されることも学べた。と感想があった。			

令和6年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
前渡を明るく住みよくする会【H24.4.21設置】	自治会長 各部会長 事務局長 (17人)	1	令和6年5月24日	・令和6年度市民会議の取組について	・市民会議委員の顔合わせ ・今年度の取り組むべき課題の検討 ・事業については来年2月開催を予定する。今後、具体的内容の検討を進める。	・これまで、自治会加入率の向上を目標に活動してきたが、依然として加入率の低下が止まらない。 地域で活動されている介護ケア、医療ケア関係者の声をお聞きする機会となり、有意義であった。		・年度当初に検討テーマを設定し、それを遂行する。
		2	令和7年1月17日	・常任理事研修	各自自治会の抱えている課題等について出し合い、意見交換を行った。			
		3	令和7年2月25日	「2040年問題に備えて私たちにできること」の演題で講演会を開催	フロイデ総合在宅サポートセンターの大越介護福祉士を講師に招き「2040年問題に備えて私たちにできること」と題しての講演いただいた。高齢化社会について、2040年問題は団塊ジュニア世代が65歳を迎え、大量に定年退職⇒少子化で労働人口急減。国民の約1/4が75歳以上の後期高齢者になることで、社会保障・労働力・医療などに影響が生じる。今後の対策として地域包括ケアシステムが提起されており、高齢者への医療ケア・介護ケアを地域として支えていくことが必要である。自治会組織も双方向で役割を担い、声掛けしていくことで「人とのつながり」が増え、健康寿命も延びるとのこと。高齢化を理由として自治会を脱会される方がいらしますが、フレイル予防として自治会加入継続をお勧めしたいと思います。			
佐野の和を推進する会【H25.4.15設置】	会長 副会長 12地区自治会長 顧問 民生委員児童委員 佐野小・中PTA会長 商工会議所青年部 青少年部会長 事務局 (22人)	1	令和6年6月7日	・市民会議のテーマ選定について	令和6年度は市民会議アドバイザーを配置し、実践に即した会議運営のほか、人材育成や会議のPR方法を学び、会議の活性化を図っている。 ・アドバイザー出席 ・市民会議委員の顔合わせ・辞令交付 ・それぞれの立場からの意見交換、課題抽出 ・今年度より取り組むテーマの検討	・今年度は、市民会議アドバイザーを活用し、課題抽出から解決に向けたアプローチ方法、構成メンバーの選定や市民会議のPR方法など、実践に即した会議運営の手法についてアドバイザーに助言をいただきながら取り組んできた。 ・構成メンバーについては、固定化されていた自治会長以外に多様な立場の方々に委員を担っていただき、活発な話し合いが行われた。 ・話し合いのテーマについては「子ども達にとって理想の催し物とは？」、「実施にはどんな人材・もの・場所等が必要か？」をワークショップ形式で抽出し、積極的な意見交換が行われ、発言しやすい会議運営となった。 ・市民会議の内容を広報紙に掲載し、地域住民と課題等を共有するなど、市民会議のPRに努め、広く周知を図った。	・委員の中には、話し合いに出られなかった方もいるので、運営委員の人選方法も配慮しながら市民会議の運営に当たっていきたい。 ・研修視察等で参考になる事例もあったので、運営方法やネーミングも含めて地域にとつてより有意義な市民会議として取り組むことが行事等の活性化につながると考えている。	・先進地域視察も含めて年5回の話し合いを通して「子ども達にとって理想の催し物とは？」「実施にはどんな人材・もの・場所等が必要か？」を探りながら、次年度、子ども達の意見等も聞き取りながら、よりよい行事へとつなげられるように、話し合いを深めながら市民会議の運営を進めていきたい。 ・予算面や人材確保が大事になるが地域の学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校)との連携を深めながら楽しい行事の運営方法を模索し、話し合いを深めたいと考えている。
		2	令和6年9月5日	・意見交換、市民会議のテーマ決定	・第1回会議の振り返り及び意見交換 ・委員(佐野小学校PTA会長)からの意見発表 ・テーマ決定 「地域において子どもが楽しく参加できる行事」 「地域としてどのように運営に関わるか」			
		3	令和6年10月4日	・テーマについてのグループ討議	・経過及び趣旨説明 ・グループワーク1 「子ども達にとって理想の催し物とは？」 ・グループワーク2 「実施にはどんな人材・もの・場所等が必要か？」 ・グループ発表 ・田邊アドバイザーの総括			
		4	令和6年11月26日	・真岡市役所総合政策部プロジェクト推進課視察	・真岡市役所総合政策部プロジェクトについて ○若者主体のまちづくりへの取り組みについて ○意見交換・質疑応答 ○庁舎見学			
		5	令和7年2月7日	・会議の総括(グループ討議)	・前回の話し合いの要点の説明、研修視察報告他 ・グループディスカッション ○持続性のある取組を実施するために、市民会議としてどう関わっていくか ○田邊アドバイザーによる総括			

令和6年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ 組織名	市民会議委員 (人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の 取組予定
大島コミセン地区 地域づくりの会 【H25.4.20設置】	地域づくりの会役員 自治会長 委員長(若しくは副委員長)及び実践部会長 保健推進員 高齢者クラブ 民生委員 大島中学校区PTA 青少年代表者 婦人学級連絡会 (20人) ※今回の「テーマ」・ 「取り組み」は、社会福祉協議会の支えあい事業(地域福祉推進体制整備事業)との関連が深いため、地域福祉課と社会福祉協議会の職員の方も加わっている	1	令和6年6月10日	・今年度の市民会議の取り組みについて	・市民会議委員の顔合わせ、委嘱状の交付(新任者) ・前年度までの活動内容の確認 ・社会福祉協議会より支えあい事業の取り組みについて説明 ・今年度取り組むテーマ「ゴミ出し支援～助け合いの仕組みづくり」(継続)についての確認	・今回のテーマは、令和3年度から継続して4年間取り組んできた内容である。今年度は、テーマとして取り組む最終年度としての総括になる。実践的な取り組みにつなげるため、当事者の視点で協議を重ね、具体的な案づくりを進めてきた。	・これまでの市民会議では、高齢者支援の対策として「ゴミ出し支援」をテーマに設定し、助け合いの仕組みづくりに取り組んできた。今年度も同じテーマを継承してより実践化に繋げるために話し合いを重ねている。自治会が担い手となるコミュニティ支援型で、自治会内で負担なくでき、持続性のある取り組み・方法を模索している。最終的に自治会に提案できるようなカタチにしていきたい。ただ、自治会の地域性や年齢構成、会員数など諸々のことを考えると、実施に際しての解決すべき課題も多いのが現状である。	・新たなテーマについて委員の方々から意見を聞き、整理した上で年度当初の会議の中で検討して決めていきたい。
		2	令和6年8月26日	・テーマ「ゴミ出し支援～助け合いの仕組みづくり」について	【グループ協議】 ・現実的に地区内の自治会として実践出来そうな案についてのアイデアの提案と検討 ・持続性のある、自治会内で負担なくできるもの ・ゴミ出し支援者について(コミュニティ支援型) ・取り組み上での解決すべき課題	・11/22には、高齢者の支援に取り組んでいる柏野『たすけ愛』ネットの代表者の方々との意見交換会を行った。活動内容等についての説明や質疑応答を通して、生活支援の実践事例等について伺うことができ、大変参考になる点が多かった。支援者(スタッフ)として「やっていて楽しい」「喜んでもらえる」ことが活動のモチベーションの維持につながっていることを伺い、共感した。		
		3	令和6年11月22日	・先進地視察研修	・高齢者のためのボランティア組織「柏野『たすけ愛』ネット」(市内柏野団地) ＜主な説明内容＞ 組織立ち上げの背景や目的、組織、資金、活動状況、課題等 日常生活支援(家庭のゴミ出し、資源回収、除草、植木剪定等) 会報「ネットだより」による広報活動 サロン活動(茶会、健康体操、会食懇談、カラオケ等) 会員数115名 会員の高齢化と後継者の問題	・第4回の会議において、支援者・利用者双方にとって負担が少なく、無理なく持続できる具体的な取り組み案をグループごとに立案し、第5回の会議で検討して最終的にまとめたい。第5回の会議において、前回の各グループより提案された内容について再度検討して整理した。その後、整理した内容を取りまとめて各自治会宛てに提案し、各自治会の事情に応じて支援活動の立案と実践に役立ててもらえるようにお願いした。		
		4	令和6年12月16日	・テーマ「ゴミ出し支援～助け合いの仕組みづくり」について	【グループ協議】 ・自治会が担い手となって取り組むときの具体的な案について ①支援組織の形態(ボランティア募集や既存の団体の活用等) ②支援対象者 ③支援回数やゴミの種類、料金 ④スタートに向けた準備、工程			
		5	令和7年2月10日	・テーマ「ゴミ出し支援～助け合いの仕組みづくり」について 総括	【全体協議】 ・前回のグループ協議の結果についての確認 ・実践化に向けた具体的な提案内容の検討 ・本年度のまとめ			

令和6年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
田彦中学区地域づくりの会【H24.4.14設置】	会長 副会長 自治会長 自治会副会長 事務局 (13人)	1	令和6年7月27日	・地域学校協働活動	小中学校先生、PTA、地域による講習会の開催 (テーマ:怒りの感情コントロール(子どもへの怒り方)) 終了後、生徒指導推進協議会を拡大して開催(活動への理解発信)	①講演会等を企画実施(対象:学校関係者、保護者、地域40名) ※学校側と地域の距離感を感じる。 ②学校運営協議会がPDCAの循環がされていない	①教育委員会が「地域学校協働活動」を推奨しているが学校側のスタンスが弱い(指導力不足) ②運営委員会の実効性についても疑問(人材育成)	様子見 ・小学校の運営委員に地域からの推薦者を提案(学校と地域のつなぎ役)
		2	令和6年4月21日	・子ども会・地域との情報交換会(第1回)	自治会会員数が前年度比▲6%減。 若年層世代への地域活動の理解へのアプローチ 9子ども会(本年度から任意加入により、組織基盤の脆弱化。小学校PTA組織見直し(任意加入)検討中) 議事:それぞれの事業計画の紹介、要望	・令和5年度から子ども会と地域あり方を検討したが、令和6年度末で全て解散となる。	・若年世帯のアプローチ(市街からの転入者が多い。働いていることを理由に地域の関わりが敬遠される) ・若年世帯との地域コミュニティとのかかわりの再構築	・5自治会と地域づくりの会の情報発信強化(7年度上期目標にHP構築)
		3	令和6年6月22日	・子ども会・地域との情報交換会(第2回)	議事:地域学校協働研修会、秋季運動会の実施に向けて			
		4	令和6年7月28日	・子ども会・地域との情報交換会(第3回)	議事:秋季運動会競技種目と協力について			
		5	令和6年8月24日	・子ども会・地域との情報交換会(第4回)	議事:秋季運動会とコミまつり実施に向けて		・役員の高齢化、担い手の確保	・5自治会の自主防災員の合同研修(交流を含む)
湊中学区地域を住みよくする会【H23.9.30設置】	コミ役員 自治会長 PTA会長 保健推進員 スポーツ推進員 (15人)	1	令和6年6月3日	①中学校の部活動の無い日の放課後の生徒の見守りについて ②地域の子供会の存続について	①しおかぜみなどの放課後の居場所としての利用を具体化していくため、生徒自ら利用方法を考えてもらいたいのとしおかぜみなどの見学会を中学校へ提案する。 進めていく上で市民会議、湊中、しおかぜみなどフューチャーズミーティングの連携の必要がある。 ②地域の子供会の存続について、課題意見が出された。	・湊中における部活動がない月曜日及び木曜日の生徒の受け入れについては、湊中生の「しおかぜみなど」見学後のアンケート結果から、「しおかぜみなど」が子供たちの居場所として有効に活用されとの感触を得ることができ、活動として良い方向へ進んでいると感じる。	・「しおかぜみなど」を利用して子供たちの受け入れを行う場合、子供たちの見守りのための人員の配置・報酬、トラブルに対する賠償責任等の課題がある。	・中学生を受け入れる場所として、「しおかぜみなど」以外に子供たちの自宅から近い場所にも作れないか検討していく。 また、新たな取組みについても検討する。
		2	令和6年8月23日	①湊中における部活動がない月曜日及び木曜日の生徒の受け入れについて	①中学生の見学会を行うことを中学校へ伝えてあり回答待ちである。見学会を行い生徒の意見も聞きながら進めていくこととする。市民会議、湊中(PTA)、しおかぜみなどフューチャーズミーティングが連携していくため8月に話し合いを行った。			
		3	令和7年1月21日	①湊中における部活動がない月曜日及び木曜日の生徒の受け入れについて	①しおかぜみなどの見学会を湊中2年生に対して行い、見学後のアンケート結果が湊中から学校運営協議会を通して示された。休日や放課後に利用してみたいとの回答が多くあった。 ②ひたちなか市こども計画(案)に対して、中学生の放課後や休日に自由に過ごせる居場所づくりについての事業追加をパブリックコメントとして提出した。			

令和6年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ 組織名	市民会議委員 (人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の 取組予定
美乃浜学区明るい地域づくりの会 【H24.6.1設置】	コミ役員 自治会長・副会長 部会長 青少年相談員 女性学級 防犯協会 (19人)	1	令和6年5月8日	・コミセン移転に向けた協議会 No.1	〈出席者〉12名(市民活動課・資産経営課、地域づくりの会) 【協議内容】移転に向けてのスケジュール(案)の質疑応答(設計、工事について)		①花壇整備について 大宮土木事務所及び各自治会を巻き込んで検討し、取り組んできたが、計画通りには進まなかった。7年度には土木事務所で予算がつくので実現の見込み。 ②移転協議会は8回実施し、部屋割、グラウンド、公園、体育館の在り方について市を交えて協議する。特に体育館は解体で決定したが、避難所や大きなイベントの場所をどうするか今後の課題	・移転について 令和7年前半に設計が終了し、7年後半に改修工事に入る予定。8年度中に供用開始予定。 ・阿中学区との統合に向けた協議。
		2	令和6年6月1日	・コミセン移転に向けた協議会 No.2	〈出席者〉17名(資産経営課・市民活動課、地域づくりの会、運営委員、PTA、コミセン利用者、若連、事務局) 【協議内容】①部屋割について②体育館の管理について③グラウンド(駐車場、一部公園)について			
		3	令和6年7月16日	・令和6年度 重点取組の確認 について	今年度の取組課題の検討 ①平磯コミセン移転計画について ②平磯海岸「大ちゃん通り」花壇の整備について			
		4	令和6年7月25日	・平磯海岸通りの花壇整備ボランティアについて	平磯地区住民1,558全世帯にアンケートを実施 【内容】①花壇の現状と場所(地図添付)の説明②管理できる方の名前と管理希望場所やご意見 【結果】 現在回収中ではあるが、数名の協力者を得たので、今後はイベントとして子供会を含めて整備していくことも視野に入れて検討する。			
		5	令和6年8月5日	・コミセン移転に向けた協議会 No.3	〈出席者〉11名(市民活動課、地域づくりの会、利用者団体、事務局) 【協議内容】①大会議室について②調理室について③駐車場の台数について			
		6	令和6年11月14日	・海岸道路の整備について	磯崎県議を交えて現地確認。県議を通じ大宮土木事務所へ次の3件を要望 ①沢メキ交差点～大喜屋商店までの除草を年1回から2回へ ②平磯海岸海開き前に砂浜の葦などの草刈取り ③18基の花壇の除草(住民の高齢化により手入れが困難)			
		7	令和6年12月13日	・花壇整備ボランティアについて	大宮土木事務所、磯崎県議、地域づくりの会14名が参加し、花壇18基について1基ずつ確認。花壇や路肩の除草について協議。土木事務所で予算がつき次第実施予定。			
		8	令和6年10月24日	・コミセン移転に向けた協議会 No.4	〈出席者〉16名(資産経営課・市民活動課・生活安全課・公園緑地課、地域づくりの会) 【協議内容】教室関係・駐車場・体育館について意見交換			
		9	令和6年11月28日	・コミセン移転に向けた協議会 No.5	〈出席者〉15名(資産経営課・市民活動課・生活安全課・公園緑地課、地域づくりの会) 【協議内容】①各部屋の機能と公園の在り方②体育館の解体等について意見交換			
		10	令和6年12月3日	・コミセン移転に向けた協議会 No.6	〈出席者〉11名(市民活動課、地域づくりの会) 地域づくりの会として、体育館の利活用や管理をどうするか検討。解体するのであれば、地域住民に回覧が必要となる。			
		11	令和6年12月16日	・コミセン移転に向けた協議会 No.7	〈出席者〉10名(市民活動課、地域づくりの会) 【協議内容】「コミセン移転最終回答書」について協議。体育館解体後の避難所について住民への文書を市と連名で作成に同意。また解体後は公園にすること、グラウンドの活用にも同意。校舎については体育館がなくなるのでイベントに使えるよう広い部屋の確保を希望。2F多目的室を市の防災倉庫にすることに同意する。			
		12	令和6年12月26日	・コミセン移転に向けた協議会 No.8	〈出席者〉20名(市民活動課、地域づくりの会) 【協議内容】体育館解体後について、公園、グラウンド、校舎の一部倉庫にするなどを協議し、承認された。 今後のスケジュールについては3月以降となる見込み。			

令和6年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題等	次年度以降の取組予定
阿中学区明るく住みよい地域をつくる会 【H24.4.21設置】	コミ役員 自治会役員 地区ごとの代表者(各地区2人) 美乃浜学園PTA代表(22人)	1	令和6年5月29日	令和6年度の市民会議の取組についての説明	・今年度の市民会議のテーマについて説明 ・今後のコミュニティ組織の運営についての検討 ・ふれあい交流館の利活用の推進について ・津波を想定した避難訓練(継続 自治会との連携)	・美乃浜学区明るい地域づくりの会との統合に向けて、役員、委員に年度初めに周知したが、その後、話し合いの場面を計画的に設定しなかったため、あまり進展がなかった。 ・地域の特性により、延期になっている防災訓練に関する炊き出し訓練・救急講習会が年度末になってしまった。	・先々のコミュニティ組織統合に向けてさまざまな課題がある。(住民への周知、理解、統合を進める段階での課題、統合後に予想される課題・心配点)	・美乃浜学区明るい地域づくりの会とのコミ組織統合に向けた話し合いと実践を推進する。 ・旧阿字ヶ浦中グラウンド、体育館の今後の維持・管理について検討する。 ・交流館を拠点としたコミュニティ活動と自治会活動との棲み分けについて検討する。
		2	令和6年8月2日	今年度の市民会議のテーマについて、部会ごとに話し合う	・ふれあい交流館の利活用案、今後のコミュニティ組織の運営について各部会に別れて話し合った ・防災訓練当日の動き・当日までの準備の確認をした			
		3	令和7年3月23日	炊き出し訓練・救急講習会	・令和6年8月31日の市の防災訓練に合わせて実施予定だったが、ひたちなか市への台風接近により市の防災訓練が中止になったのに合わせて、阿中学区コミ組織の活動も中止。阿中学区コミ組織の防災訓練、救急講習会を実施。			
		4	令和7年3月23日	令和6年度の市民会議の取組の反省と次年度の取組についての話し合い	・今年度の市民会議の取り組みの反省 ・次年度の市民会議の取り組みについての話し合い ・美乃浜学区明るい地域づくりの会とのコミュニティ組織の統合に向けた見通しについて			